

(令和6)年度 学 童 ク ラ ブ 事 業 年 間 活 動 報 告 書

(大宮西野山) 児童館

行事名	実施回数	学童クラブ児童						登録外児童		ボランティア			その他	合 計	内 容
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	1～3年	4～6年	中高生	大学生	大人			
(1)															
おやつ提供	毎日														学童全員
帰りの会	毎日														学童全員
手話歌	毎日														学童全員
手洗い・消毒の励行	毎日														学童全員
帰宅指導	毎日														
集団下館指導	6	70	52	47	25	12	1				34				安全な集団下館の習慣づけ、また帰る経路の確認をする
昼食会	2	41	34	26	21	12	1								135 児童館で準備した昼食を学童クラブ全員で会食する
クリーンデー	12	179	118	93	47	26	7	2							472 館内清掃・除草作業・落ち葉や石拾い・ロッカー掃除などを行う
(2)															
入会式練習							随時								入会式で一年生に向けて、発表の練習を行う
入会式	1	24											32	56	新入会児童を祝う会・職員紹介、代表児童による館紹介、在籍児童による発表など
交通安全教室	1	18	10	13	5	2	1	2				1	2	54	北警察署の署員より新一年生向けの安全な通館路の歩き方や不審者対応について学ぶ
わくわくまつりステージ練習							随時								発表するけん玉、技パフォーマンスの練習を行う
レク研さんありがとう会	1	15	11	10	4	2	1	1			6			50	偉大レク研さんへの感謝を込めた会となり、子どもから感謝の気持ちを伝える
お誕生日係	4		13												13 誕生日会が円滑に行くよう、進行やゲームなどの企画を考え、実行する。
お誕生日会	12	207	159	84	56	26	6	3		1				542	学童クラブ児童の誕生日をお祝いし、集団ゲームを楽しむ
修了遠足	1	19	13	13	7	2							1	55	一年間の締めくくりとして、キッズプラザ大阪に行く
修了式	1	13	15	8	4	3	1							44	修了証書を受け取り、1年間の振り返りを行う
記念製作	1	22	18	13	8	3	1							65	好きなキャラクターをアイロンビーズで作る
船岡スタンダード	中止													0	手話歌をステージで発表する予定だったが、雨天の為中止となった
ドッジボールフェスティバル	1	10	7	3	7									27	今年度1ブロックの中分散した。北区で近い3館(自館含め)で交流を深める
(3)															
学童クラブおたより「かけはし」発行	12	毎月各家庭に「さくらDays」アプリで配付													館と家庭をつなぐかけはしとなるよう毎月発行
下館指導の地域の方への依頼	6												34	34	偉大のレクリエーション研究会に協力してもらい、子どもが安全に帰れるよう付き添い、指導にあたる。
個人懇談	5													29	29 各家庭の状況や要望の把握を行い、保護者との交流を深める
わくわくまつりお手伝い	1													32	0 児童館への満足感や要望など 32 児童館まつりへの保護者ボランティア
学童クラブ入会説明会	1	5	3	1										47	56 新規と継続で分けて、新規の方にはより詳しく説明しスライドショーを使って、学童クラブの生活や様子を伝える。
保護者懇談会	1	2	2											15	19 夏休みの生活(過ごし方)の説明、スライドショーを使って子どもの様子を伝える

*注1 行事名は、(1)生活援助機能 (2)子ども育成機能 (3)子育て支援機能に分類して記入すること
 *注2 2クラス以上の館所で、クラスごとで異なる取組・行事を実施した場合は、行事名と併せて、クラス名を記入すること

(令和6)年度 学 童 ク ラ ブ 事 業 年 間 活 動 報 告 書

(大宮西野山) 児童館

活動の基本目標（指針）	主 な 取 組 名	成 果 と 課 題
安全・衛生の確保	出席確認の徹底（安全確保のため、無届け欠席があれば保護者と連絡がつくまで徹底確認する。）	うえぶさくらのアプリから出欠等を行い、保護者も使いなれてきた。帰り方の項目（7項目）が多かったので、次年度は少なく（4項目）し、分かりやすいようにした。未記入の方がいるので、しっかり声かけしていく。
健康の管理・情緒の安定	・帰宅時の同行（入会当初・不審者情報のある時） ・学校～児童館～自宅の往復路における安全指導	登館時に気を付ける箇所の確認と一人は避けて登館するよう指導した。 事故やトラブルに配慮し、毎日落ちていて帰るよう指導にあたる人が走って帰ってくる子ども、またトラブルもあったのでしっかり指導し、帰りの会などで伝えていく。 北警察署の方に来ていただき、新一年生向けに安全な登下館の歩き方や不審者対応について、年度当初に分かりやすく教えていただいた。
基本的生活習慣の確立	・交通安全教室 ・手洗い・うがい・アルコール消毒の徹底 ・在館中における安全確保（職員が館内外を分組して配置につく）	感染症予防のため手洗い、消毒を声かける。そして、机の消毒を徹底した。 トラブルや怪けにすぐに対応できるよう、また友達関係にも留意し、健康、情緒の安定もはかっていく。 グラウンドは小・中学生が一緒に利用するため、遊びの範囲を決めたり、互いに注意して遊ぶようにしたりその都度声掛けして安全確保に務めた。 年々、暑さが増してくるので、熱中症には気を配り、室内外に関わらずこまめに水分補給を促す。 また過ごす時間が長いので、休息できる場所も確保し、子どもの体調管理に配慮した。
社会生活技術の獲得	・夏休みにおける生活指導 (適度な運動・帽子の着用・学習の習慣付け) ・おやつ、昼食時の手洗い・うがいの徹底 ・遊具片付けの徹底 ・おやつ提供 ・整理整頓・挨拶の励行 ・クリーンデー	手洗いの大切さについて、帰りの会やおやつ時に意識的に触れ、意識づけを行っていった。 手洗い場が少ない為、長い列ができるので学年ごとに時間をずらして実施している。しっかりと手洗いができるよう職員を配置し、指導していく。 レゴやラキューなど作品を残すルールなど決めて、守られていた。今後も指導していく。 食育を意識しながら、食べることに楽しさを感じれるようおやつ提供を行い、班の中で片付けの役割をこどもたちが決めることで縦割りの関係を築き、役割の責任が身につく。ただ偏りがないように注意していく。 整理整頓やお片付けができていない部分があるが、継続的な指導により身についていくので今後も工夫をこらしながら注意を促す。 皆で使う場所をきれいにすることの意識づけて、きれいになる喜びと楽しさを様々な視点から工夫して行っていく
生活体験の拡大	・修了遠足	2月中旬大雪（京都のみ）だったが行けた。キッズプラザ大阪に行き、こどもたちは楽しく過し良い思い出ができた。 次年度、大雪左右されないように、日を帰る。
社会性の養成	・手話クラブ ・月間活動（オセロ大会、マンカラ大会、将棋大会前に練習を積んで本番に臨む）	長年継続しているため学童クラブの代表的な取り組みとなる。楽しんで手話を学ぶ事により障害に対する理念（ノーマライゼーション）を身につけている。 入会式やわくわくまつりなどの大きな行事でも披露し、達成感に繋がっており、保護者の方も発表を楽しみにしておられる。 みんなが楽しく体験できるよう講習会を設け、チャレンジする気持ちと館全体で取り組むことを意識している。 またなかなか取組に参加できない子どもでも参加しやすい取組になっている。
自立の促進と自主性の尊重	・各行事でのこども実行委員 ・お誕生日会 ・クリスマス会 ・入会式 ・修了式 ・日直活動（おやつ、帰りの会司会）	だがしやさんやクリスマス会でこどもたちが主体性に活動することができた。みんなで話し合いながら進められた。 そこもふまえて取組みを考えていく必要がある。 2年生が中心で7月～10月の間で一人1回、お願いしてたくさんの子どもが経験できるように考えた。次年度も無理ないように考えていく アルパイトとレクリエーション研究会の方と楽しいプログラムを考え、季節の行事を感じてもらうことができた。 在籍児童からの言葉のプレゼントや発表は、児童館の活動を肌で感じてもらえるので引き続き行っていく。 リハーサルから真剣に取り組むことができ、6年生の最後を締めくくることができた。次年度も一つの締めくくりとして伝えていく 前に立って話すことで、苦手意識や緊張を克服する機会にする。次年度もこどもたちが無理ない程度で行っていく
と交換	・保護者懇談会 ・個人懇談会 ・学童クラブおたより「かけはし」の発行 ・連絡帳の活用	学童での様子や過ごし方をスライドショーでお伝え、中々お会いできない保護者の方とも話せれる貴重な機会となっている。 1年生の保護者や普段話す機会の少ない保護者と情報交換し、関係性を築くことができた。 見やすく分かりやすい内容を心がけ、2色刷りで行った。うえぶさくらでおたよりを送信し直接保護者の携帯へ送ることができた。 また活動の写真では、個人情報や肖像権を意識し、掲載を行った。 うえぶさくらのメッセージ機能でのやりとりを行った。
子育ての仲間づくり	・親子で参加できる行事への勧誘 (わくわくまつり)	ダンスや手話歌、けん玉、あそびの発表の機会を設け、また保護者にはお手伝いをお願いし、親子で過ごしてもらえた。 大型遊具の撤去に伴い、大きなスペースができたので、遊戯室で行っていたドリンクコーナーを持ってきて、遊戯室のスペースを確保できた。
子育てを支えるネットワーク形成	・昼食会 ・集団帰宅指導 ・学校との連携	保護者の負担が軽減できるよう昼食を用意する。アレルギーのことも考え、たべやすい様々な内容を考え、提供していく。 4月当初の新1年生の集団下校にレクリエーション研究会の方に付き添っていただき、安全に自宅まで帰れるように見守る。 気になることや共有することがあれば情報交換しているが、学校との距離が離れていることもあり、顔を合わす機会が少ないが電話や、おたよりを学校へ持って行った時に情報交換をしている。次年度も連携して、情報交換、共有していきたい